

株式会社 F・ジャパン

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘25-3

TEL0739-26-7297 FAX0739-26-0506

HP : <http://f-japan.holy.jp>

ストップ！絶対にやっちゃダメ！「ながら運転」 「やめよう！運転中のスマートフォン・携帯電話等使用」

運転中の携帯・スマホの使用やカーナビの画面注視など携帯電話使用等（いわゆる「ながら運転」）に起因する交通事故件数（令和2年）は、道路交通法の改正（厳罰化）等の効果もあり、前年より大幅に減少しました。

その一方で、ながら運転による交通事故は、ながら運転以外の場合と比べ、死亡事故の比率が約1.9倍であり、重大事故となる可能性が高い傾向があります。

ながら運転を絶対にしないように心がけ、常に運転に集中しましょう。

○ちょっとが危険を招く

スマホをちょっと確認するだけでも、また運転に集中するまでに2秒程度を要します。一方、スマホやカーナビを2秒以上注視するとドライバーが危険を感じる状態になると言われます。車は2秒間で思った以上に移動します。その間、周囲の交通情報が遮断されると、対向車、停止車両、歩行者等に気づくのが遅れ、ブレーキ操作等が間に合わず、衝突、追突もしくは歩行者等をはねるリスクが高まります。

○ながら運転対策

厳罰化から1年半が経過しましたが、ちょっとした油断も生じさせないためには、“ながら運転は絶対にしない”という強い意識を持ち続けることが大切です。

ながら運転の危険性をいまいちど認識し、安全運転を心がけましょう。

1. ながらスマホ対策

- ・着信で注意を奪われないよう、運転前に電源を切ったりドライブモードに設定したりする。
- ・スマホを操作するときは、安全な場所に停車してから行う。
- ・ハンズフリー通話は、会話に気を取られて安全不確認や漫然運転といった安全運転義務違反につながる可能性があることを十分に意識する。

<職場での取り組み>

- ・ながら運転の撲滅に向け、油断が生じないよう、定期的に安全運転教育を行う。

2. カーナビ注視対策

- ・時間に余裕を持った行動（目的地への道程の事前確認、早めの出発）をする。
- 道に迷ってもあわてず、車を安全な場所に駐車して地図を確認しましょう。



お気軽にご相談ください！ ご相談だけでもかまいません

私たちは、お客様一人ひとりに合わせた保険をコンサルティングいたします。